

6th University Scholars Leadership Symposium

香港 HONG KONG
2015

Humanitarian Affairs Asia is looking for outstanding student leaders from **Tottori University** to attend the **6th University Scholars Leadership Symposium** held in Hong Kong from 1 – 7 August, 2015.

1,000 scholars from top universities around the world will attend the Hong Kong Symposium. This year's symposium is supported by the **Hong Kong Government**, endorsed by the **United Nations** and promoted on their official [Relief Web](#).

We are searching for Student Leaders with the following qualities:

- Students who have demonstrated strong leadership potential
- Students who have a diverse and knowledgeable worldview
- Students who exhibit strong cross-cultural sensitivity and adaptability

Please contact our Global Event Associate,
Patrícia Imada:

E-mail: patricia.imada@humanitarianaffairs.org

Skype: patricia.imada.1

for more information about the Symposium, or to request a special Delegate Application Form.

The Deadline for the 1st round of applications is **31 March, 2015**.

If you're passionate, excited about the world we live in, and believe you have something to contribute, then we want to see you in **Hong Kong!**



website: www.universityscholars.org.uk or www.humanitarianaffairs.asia

香港大会

2015年8月1日～7日

ORGANISED BY



第6回世界大学生
リーダーシップ
シンポジウム



「ENRICH. EDUCATE. ENLIGHTEN.
(豊かにする、教育する、啓発する)」

第6回世界大学生 リーダーシップ シンポジウム



香港大会
2015年8月1日～7日



700名もの、世界で最も有望な若いリーダーたちが「第6回世界大学生リーダーシップシンポジウム」のために、香港に集結します。そして2015年のシンポジウムのテーマは「Enrich. Educate. Enlighten. (豊かにする、教育する、啓発する)」です。

この毎年恒例のリーダーシップ・プログラムはHumanitarian Affairs 英国本部が主催しHumanitarian Affairsアジア支部の協力のもとに行われています。そして、第6回USL シンポジウムの主な目的は、次世代のリーダーたちに、成功を約束するキャリアを築くために必要な価値のある生活力と知識によって影響を与えることです。

大卒生の能力と雇用主が求めるものが一致するのが、理想的な社会の仕組みです。しかし、今世界中で現れ始めているある雇用の傾向によると、大卒生の高等教育によっても、職を求めている人々が直面する問題から逃れることはできないのです。そしてその傾向は少しずつ大きくなってきています。求人市場において、職に就いていない大卒生の数は過去数年間にわたり著しく増えています。その原因の一つは、世界中で学位保持者がより多くなってきていることであり、それによって労働力の補充において、ますます人が余ってきているという状況なのです。

求人市場の競争率がますます高くなっていくと、若者は自分が選んだ分野において成功するために、いくつかの能力を適切に混ぜて持ち合わせなくてはなりません。それゆえ、2015年の第6回USLシンポジウムは大学生と大卒生の両方にこれらの必要な能力を発達させる機会を与えるでしょう。

HUMANITARIAN A



Humanitarian Affairs英国本部はロンドンを拠点とした社会的団体で、タイにはアジア地区事務所があります。Humanitarian Affairsは the World Association of Non-Governmental Organizations (WANGO)(世界NGO連合)、The World Alliance for Citizens Participation (CIVICUS)(世界市民参加同盟)、UN Global Compact(国連世界協定)、そして、the International Association for Volunteer Effort(IAVE)(国際ボランティア活動連合)のメンバーです。

Humanitarian Affairsは、必要に応じて社会の問題点を軽減するために社会のためになる活動に参加する機会を若者に与え、そうすることで彼らを世界一流の市民に育てることを目的としています。これはシンポジウムのプログラムを遂行し、救済活動を行うことにより達成されます。その救済活動は、貧困地域や災害で被害を受けた国や地域にまで広がっています。

Humanitarian Affairsは、異文化に出会い、必要ならば救済をすることにより、プログラムに参加している若者たちが、自分以外の人々に対して愛情を持てるように、知識と情熱における受容力の両方を発達させると信じています。そのプロジェクトを通して、Humanitarian Affairsは絶えず同情する気持ちを、特権が少ない社会のために、長く続く責任感、一体感、共感に変えることを心から願っています。

2015年 香港シンポジウム

香港シンポジウムは、「リーダーたちを集めてやるチャンスを与えられるプラットフォームを設けて、香港シンポジウムに加えて、シンポジウムになれるように力を与え

FFAIRS とは



ウム

豊かにする、教育する、啓発する」をテーマにしている、多くの多様な分野や組織を超えて、700名の世界で最も有望な若いリーダーたちと情報交換する機会を通して、社会的な情報網を広げます。これにより、参加者たちは、世界で最も賢くて有望なリーダーたちと情報交換する機会を通して、社会的な情報網を広げます。その上、創造的に考えるように育てること、そして、意欲的なリーダーの地位につくように育てることという2つの目標を達成するために、参加者の肉体・精神における全体的発達の助けとなる知識と経験を得るための機会を参加者全員に与えます。このプログラムはまた若いリーダーたちが、自分の全可能性を認識し、それに向かって到達するのを助けるだけでなく、地球市民に貢献する機会を提供します。

何が自分のためになるのか？



「WHAT'S
IN IT
FOR **ME?**」

あなたは、仲間のたまり場から成功するリーダーとして自分を目立たせるスキルを獲得したいですか？

今日、急速に進むグローバル化と、増加する競争によって、夢見た仕事を見つけたり、またはその仕事に就けても続けることさえ難しくなっています。今日の一流機関における一般的知識として、正しい態度、自信、そしてリーダーシップの能力を持っている人々に投資する傾向があります。しかし、私達の大半は、生来の失敗への恐れから、自分達ができる能力を超える大きな夢を持つことへの自信に欠けています。

この集中的なプログラムの主な目標の一つは、個人の発達と、自分自身の能力についての自信を作りあげることです。このプログラムが終了するまでに、参加者は能力を身に付け、そしてそれによってあなたは確固たる自信を持って導かれるようになることを保証します。

「今、まさに起業家が、死を恐れるあまり言い訳を言っています。『まだ、その時ではない』と。しかし、『ちょうど良い時』などというものは無いのだ」

Kevin Plank 米国「Under Armour」会長

あなたは、他の人々に影響を与え、世界のために積極的に貢献する、自信に満ちた役割のモデルになりたいですか？

自信を築くのは難しいことです。時々、自信がないと、自分自身を疑うようになり、大きく考える能力を無くしてしまいます。しかし、訓練と忍耐により、自信は育ちはじめます。

自分自身に満足し、自分の人格を理解することによって、あなたは自分の自信を後押しすることができます。その後、異文化から来た人々との新しい関係を築き、学ぶことによって、自分自身をぬるま湯の中から押し出してみましょ。自信を築くもう一つの大きな方法は、公共の面前で話をする機会をつかむことです。



“とにかく、考え続けようとする限り、大きく考えよ”
Donald Trump「Trump Organization」社長



香港シンポジウムには、参加者が自信を持てるように助言を与えてくれるプロのトレーナーが揃っていることに自信を持っています。その上、参加者はシンポジウムの期間中、45ヶ国以上の異なる国から来た仲間との交流を通して、自信を持って話す練習ができます。

あなたは、どのようにして自分の恐れを乗り越え、
また、失敗を恐れて行動をためらうのをどのように
して止めるか、その方法を学ぶことに敏感ですか？

「失敗を恐れるな。一度だけ正しくできればそれだけでよい」
Drew Houston「Dropbox」の会長であり共同設立者

失敗というものは、しばしば苦くて飲み込みに
くい薬ですが、私たちは時々それに向き合わ
なければなりません。初めて失敗した時は失望し
ますが、失敗は私たちを引き戻すのではなく、
成長させるということを覚えておくことが大切
です。

世界的に一流の動機付けのトレーナーとリー
ダーシップの積極的指導者が香港シンポジウ
ムに出席し、どのようにして失敗を気落ちせず
に乗り越えるかの助言を与えてくれるでしょう。
その上、参加者は失敗を恐れるのではなく、成
長するための経験として自分の中に取り込む
ように教わることでしょう。



SUCCESS

どのようにして、成功を手にするために交流し、印象を与え、身支度をするかを学びたいですか？



フォーブス (Forbes) によると、理想的な雇用者が持つべき重要な特色は「市場向き」になれる能力です。つまり、顧客 (取引先) の面前に出せるということです。ビジネスはファッション・コンテストではありませんが、最も成功する雇用者は第一印象が良く、振る舞いとそのやり方において、よくまとまっているということです。

雇用者として、また将来の雇用者として、あなたは自分の企業を代表するようになるでしょう。それゆえ、公共に対してだけでなく、顧客 (取引先) に対して自分自身をいかに描くかということが大変重要なのです。プロのイメージ・コンサルタントやブランドのコーチが香港シンポジウムに出席し、個人を磨くこと、プレゼンのスキル、そして効果的な交流に対する見識を与えることで、あなたをよりよく売り出せるように助言するでしょう。

“「第一印象は大切である。専門家は、私たちはどこかにいる新人を30秒から2分の間には評価する、と言っている」
Elliott Abrams、アメリカの外交官、弁護士、そして政治評論家”

「PLENARY
SESSIONS」

全体 セッション

香港シンポジウム開催中に3つの全体セッションがあり、参加者はその中から1つ選ばなければなりません。これらのプログラムは Humanitarian Affairs の奉仕活動の一員になることに関心のある参加者のために特別に企画されています。

- 人道的な救援活動に参加すること
- 「H.A.MOVEMENT (人道的運動)」の一員になること
- 「YOUNG AMBASSADOR PROGRAM (若い世代の大使計画)」に参加すること

より良い世界を作るために、私たちは若いリーダーたちがこのような先取の精神をもって人格を築くことを信じています。それゆえに、あなたたちは参加者として色々な経験をし、このようなプロジェクトの発展を通して先取の精神の開拓に関わることになるでしょう。 [cts](#)



UNIVERSITY SCHOLARS SYMPOSIUM ★
HUMANITARIAN AFFAIRS

GLOBAL LEADERSHIP
NATION PROFESS
ONE
UNITES IN NEED
COMMUNITY
HUMANITARIAN
LEAD





学びながら 実践活動 すること

「LEARNING
JOURNEY」

ラーニング・ジャーニーはUSLシンポジウムの中心的な活動です。これは1日がかりのプログラムで、参加者は現地の社会に直接触れることができ、難民キャンプの人たちの日々の暮らしを簡単に体験することで人道的な仕事に参加する機会を持てます。

「Refugee Run (難民の逃亡)」によって、講演や討論において到達するものを超えて、より理解を深めることができます。これは話し合いではなく、模擬体験です。つまり、直接体験をすることによって、参加者は難民が生き延びるために直面する苦しみと選択をも経験する機会を持てます。

この模擬体験は、難民、IDPs、UN (国連)、そしてNGO団体によって企画され、できるだけリアルなシナリオを作り、世界中の若いリーダーたちによって語られるべき事柄、たとえば、民族紛争、軍隊の傲慢な態度、汚職、権利剥奪、欲求不満などに焦点をあてています。

ゲスト講演者と 人生のコーチたち

参加者が第6回世界大学生リーダーシップシンポジウムから大きな利益を確実に得るために、世界的に名声を博している講演者に来て頂き、トレーニングと指導を行い、参加者たちが、人格とキャリアを築く上で向上心を満たすために行動を起こすように指導します。その上、今年のシンポジウムの主役として、プロの人生のコーチだけでなく、人を感動させる多くのTED講演者が出席し、シンポジウムのPlenary Sessions (全体セッション) 中に会議を進行させ交流を深めることでしょう。

NISSA MARION

Nissa Marionはカナダ生まれで、現在は香港を活動の拠点としている環境保護学者です。彼女は、教育と約束とコミュニケーションが環境維持への鍵だと信じています。

2003年に、Nissaは会話に対する熱意が高じて、環境教育とイベントを専門としている非営利社会団体であるEvocationとボランティア活動をする事になりました。2005年に、彼女は自分の役割をプロジェクト・マネージャーにまで広げ、そこから更に、大好きなHong Kong Cleanup campaign (香港クリーンアップ・キャンペーン)を共同で立ち上げ、指揮しました。そのキャンペーンは大規模な地域の環境保護イベントであり、150,000人以上の参加者を集め、100万キログラム以上のゴミを拾いました。



Nissaは「Ecozine」を共同で設立し、編集長も務めています。これは2012年には、アジアの継続できる生活スタイルの初めてのオンライン・ガイドでしたが、2014年には印刷物として発行されました。彼女は世界中の注目を環境問題に集め、より良い生活のための変化を活気づけるために、よく使われているメディアを利用することを委ねられています。

SEUNGHEE LEE



Seunghee Leeは、プロのレコーディング・アーティストであり、プロデューサーでもあります。彼女は「Clarinet Magazines」によって、「トップクラスの名声を狙う運命にある不屈のソロ奏者」として認められました。また、2000年にSummit Recordsからデビューアルバム「Brava」が発売されると、KDRC (サンフランシスコ・クラシック専門ラジオ局) が、クラシック・スターのトップ30の一人として特集をしました。

Leeは、the Eastman School of Musicから学士号を、the Yale School of Musicからは修士号と芸術家としての証明書を授与されました。彼女はまた、多くのコンクールで優勝しています。そのコンクールとは、the International Clarinet Association Competition (国際クラリネット協会コンクール)、the Saint Luis Symphony Young Artist Competition (セントルイス交響団若手アーティスト・コンクール)、the Music Academy of the West Concerto Competition (ミュージック・アカデミー・オブ・ザ・ウエスト協奏曲コンクール)、the Yale Philharmonia Concerto Competition (エール管弦楽協奏曲コンクール) などです。イタリアのアッジジで行われた2013年International Clarinet Festival (2013年国際クラリネット・フェスティバル) では、ブラームスの交響曲第3番 (Poco Allegretto) やショパンのC短調ノクターンなどを、ピアノとクラリネットのために彼女が自ら編曲した組曲を初めて演奏しました。ゴルフ好きのLeeは、ゴルフを始めて数年後に障害を乗り越え、自分の音楽トレーニングを支えることができました。

Leeが2015年USLシンポジウムにおいて語ることは、どのようにして本当の自分自身について述べるか、自分自身を信じる過程において入り込んで来るものは何か、そして自分の本当の熱意に従うことについてです。彼女はまた、自分を音楽家として成功に導いた完璧主義が同時に舞台上で緊張したり心配を恐れる気持ちにさせた過程について、参加者と気持ちを分かち合うでしょう。この彼女の完全主義は、彼女が遂に音楽を作ることに全く興味を無くしてしまうというような人生における障害物にもなりました。しかし、ゴルフを始めてから、ゴルフの試合で同じ精神的チャレンジャーに出会ったことで、彼女は自分の欠点を受け入れて音楽の世界に戻ることができました。その結果、2011年に「Embrace」という題名の2枚目のCDを発売することができ、それは発売後すぐに香港におけるHMVのクラシック・チャートのトップ4にまで登りつめました。



SONIA SAMTANI

Sonia SamtaniはSonia Samtani Limitedの取締役であると同時に、肉体的・感情的・精神的成長のための心身快適状態のための施設である「All About You」の取締役でもあります。彼女はアジアで唯一の公認イメージ・コンサルタントであり、International Medical and Dental Hypnotherapy Association (国際医科歯科催眠協会)により認められた、催眠療法士と催眠トレーナーとして開業する資格を持っています。イメージ・コンサルタントの分野においては、Soniaはthe Association of Image Consultants International (国際イメージ・コンサルタント協会) (AICI ~ 世界一大きなイメージ・コンサルタントの機関)によって資格を与えられていて、3名の世界のトップクラスのイメージ・マスターたち、すなわち、Lynne Marks, Christina Ong,そしてCarla Mathisとともに働いています。

以前、Soniaは成功に導く世界一流のコーチであるAnthony Robbinsの先輩助言者として働いていました。Anthonyは自分のワークショップの一環として、数百人の人々に対して個人的な動機づけの集会を開いていました。彼女はまた、Cardiff Universityにおいて、コミュニケーション学の修士号を持っていて、そこで彼女は言葉を使わないコミュニケーションを専攻しました。現在までに、Soniaは5,000人以上の異なる人生を歩む世界中の人々を訓練してきました。

イメージ・コンサルタントとして、また催眠療法士として、Soniaは3つのABCを持って働いています。それらは、見た目、信じる心、そしてコミュニケーションです。Soniaのコーチと癒しへのアプローチは聖なるもので、意識と潜在意識の両方のレベルを取り込んでいます。

彼女の指導の下で、顧客は自分自身の内外からの個人的なイメージを高めて再評価し、彼らの最も理想とする個性とプロのイメージを創造するように導かれます。

MICHELLE KIM



Michelle Kim は、世界的に名高いピアニストです。彼女は、アメリカ、ヨーロッパ、そしてアジア中のコンサートホール、たとえば、カーネギー・ホール、リンカーン・センター、ニュージャージー・パフォーマンス・アート・センター、韓国のセウォン文化センター、香港文化センター、そして、その他の国際的なホールなどで演奏を行ってきました。

2007年にニューヨークから香港へ移住して、Michelleは若い芸術家や慈善団体を助けることへの熱意が大きくなり、香港の若者、特に社会的弱者を支援しています。

Michelleは2009年にThe Hong Kong Generation Next Arts (HKGNA) (香港次世代アート) を設立し、Hong Kong Charity (香港慈善団体) に登録しました。それによって、彼女は次世代の若い芸術家を支援し、音楽を通して人生と社会を変えることに貢献しました。2010年にHKGNAはHKGNAピアノ・コンテストを行い、優勝者に賞を与えました。そして同時にニューヨークの有名なカーネギー・ホールで、「From Hong Kong with Love (香港より愛をこめて)」という題名のデビュー・コンサートを行いました。

HKGNAを設立して以来、MichelleはSt. Stephen's SocietyとOperation Dawnという施設で音楽を教えることに自分の時間を捧げてきました。St. Stephen's Societyは麻薬常用者、ギャング組織のメンバー、問題をかかえた若者を社会的に回復させるためのリハビリ・センターであり、一方、Operation Dawnでは、麻薬依存を根絶するために、麻薬常用者に広範囲にわたるリハビリのプログラムを提供しています。2011年にHKGNAはSouthern Metropolis Daily社より、香港における文化と芸術的表現を支援し、若者の発達の促進に貢献したことを讃えて、「Hong Kong and Shenzhen Lifestyle賞」を授与されました。2013年には、「Marie Claire」2013年10月記念号が「Inspiring Women of Hong Kong (人に意欲を与える香港の女性)」の一人として彼女を特集しました。



DR. ERICA LIU WOLLIN

Dr. Erica Liu Wollinは香港とアメリカの両方における精神分析医です。彼女は10年以上にわたり大学生と共に働いてきたので、若い大人たちが人生の旅の中で癒しと意味を見つけるのを好んで助けてきました。そして、彼らが他人を同情して効果的に助けられる新しい個性を身に付けて人生を歩めるように、彼らの経験を変えていく方法を探ることが好きなのです。

2013年にDr. WollinはTEDx Hong Kongで話したことによると、子供たちのために精神的にも肉体的にも介護者として存在することの重要性と、逆境にいる子供たちに直面して、元気を育て、心に染み込ませる個人の力に焦点を当てています。彼女のカウンセリングの関心は、トラウマ、虐待、養子縁組と献身、悲しみと喪失、関係における背信、摂食障害、肉体的イメージ、文化面での問題、そして家族内での精神衛生面での問題などに置かれています。

トラウマ的ストレスと心配に対する効果的な治療である、EMDR (Eye Movement Desensitisation and Reprocessing) (目の動きの感光度と再処理) においてトレーニングを受けて、Dr. Wollinは香港で私的に開業しています。彼女はまた、臨床心理学における博士課程の学生を訓練する教授であり、監督者でもあります。そして、多くのNGO団体、学生カウンセリング・センター、そして慈善団体のために調査や指導をしています。また、香港の養子縁組家族のためのプロの養子縁組支援長でもあります。

アメリカで育ったDr. WollinはWheaton Collegeから心理学の博士号と、臨床心理学では修士号を受け、そしてシカゴのイリノイ大学からは学士号を授与されています。彼女はまた日本人と台湾人の血を引いており、20ヶ国以上の国を旅行し、フィリピン、日本、メキシコ、スロバキア、アメリカ、そして香港などの多様な地域のサービス・プロジェクトに携わっています。

GERALDINE COX

Geraldineのキャリアは1970年にオーストラリアの外務省からスタートしました。彼女の最初の赴任先はプノンペンで、彼女はそこで戦時下にある国の生活を体験しました。カンボジアはその時、ベトナム戦争の余波を受けていたのです。

1987年に政府の仕事を辞めてから、1996年にカンボジアに住む決心をするまでの8年間、彼女はシドニーのチェース・マンハッタン銀行で働いていました。

Geraldineはカンボジアで最初に体験したことが忘れられず、1993年に再び訪れた時に孤児を助ける活動に携わりました。そのような小さなきっかけから、Geraldineは今「the Sunrise Children's Villages (サンライズ子供村)」と呼ばれている施設を共同で設立しました。



Pan Macmillanは2000年に「Home Is Where the Heart (心がある場所が家)」というGeraldineの自叙伝を発行し、ハリウッドが彼女の本に基づいた長編映画の制作権を買いました。「My Khmer Heart」というドキュメンタリーは、2000年にハリウッド映画祭で「ドキュメンタリー大賞」を受賞し、その後、HBOとディスカバリー・ケーブル・チャンネルに買い取られて放送されています。Geraldineの物語は過去週年間にわたり、オーストラリアのテレビ番組で特集されています。主な番組は、This is Your Life, Four Corners, Today Tonight, The 7.30 Report, 60 Minutes, Talking Headsです。



MUSH PANJWANI

Mush Panjwaniは香港に居住し働いているセールス・トレーナーであり、意欲を与える講演者であり、幸福についての専門家でもあります。Mushはカラチで慈善学校における中等教育を終えるとすぐに15歳で働き始めましたが、その時、彼には教育もお金も十分な家ありませんでした。彼が持っていたものは「夢」と、ほんの13歳の少女への「愛」だけで、その両方は彼に人生への希望と人生を変える内面的原動力を与えてくれました。

25歳までに、Mushは自分自身で勉強をして香港で最も成功している直売機関を率っていました。彼は自分の夢である女性と結婚をし、彼の4人の子供たちのうち2人を彼女との間に設け、幸せに暮らしていました。

今日、Mushはアジアにおける直売の権威としての自分を確立し、セールス・トレーナーとして、そして意欲を与える講演者として、企業内の数千人の人々の人生にどんどん影響を与えてきました。それに加え、香港を拠点としている国際的出版社の経営と営業をも率いています。Mush は世界中を旅行し、自分の人生を共に歩んだ愛する人との銀婚式を祝い、4人の素晴らしい子供たちを育て、初めて本を出版し、そして自分自身のトレーニング会社を始めました。

BRIAN HODGSON



Brian Hodgsonはイギリス人ですが、24年間香港に住んでいます。彼は34年間演説家であり、イギリス、オーストラリア、香港におけるToastmasters International (国際的な宴会の司会者)のメンバーでもあります。彼はスピーチ・コンテストで50回以上優勝しており、Asian Speech Contest (アジア・スピーチ・コンテスト)では、いつも香港を代表して出場しています。BrianはPublic Speaking. hk.を設立し、トレーナーを務めています。

Brianは、金融、法律、メディア、旅行、工業などのあらゆる才能を持つ人々に1対1で指導するだけでなく、香港における4つの大学と、「Fortune 500」に載っている香港の会社でもプレゼンのトレーニングを行っています。また、過去7年間、Brianは北京、上海、バンコク、シンガポール、ソウル、台北でセミナーを開き、プロの医療関係者の上級職の人たちにプレゼンのトレーニングを行いました。

彼は香港で隔週で放送されていた生放送のトークショーで司会を務めていたこともあり、またTEDxなどの多くのイベントではMCをしていました。またアジアを横断して行われるイベントである「芸術、ワイン、チャリティー」では競売人として喝采されています。

Brianのキャリアは、The Guardian、News Corp (シドニー)そしてForbes (中国版・香港支社)のメディア・セールスとして始まりました。1997年には彼自身の会社を設立し、後にアメリカで上場された時に社長に就任しました。



CHANDRAN NAIR

Chandranは、the Global Institute of Tomorrowの設立者であり会長でもあります。それは、独立した全アジア頭脳集団であり、アジア的世界観に基づいた、中身が豊富で知的に挑戦的な上級の教育を提供しています。アジアにおける継続的な発展の強い支持者であるNair氏は、2004年までEnvironmental Resources Management in the Asia-Pacific (アジア-太平洋環境資源管理)の議長でした。そして、今もビジネス・リーダーたちに、戦略的な経営のアドバイスとコーチを提供して続けています。

Nair氏は、the World Economic Forum (世界経済会議)では常に講演を行っており、その会議においては、the Global Agenda Council on Governance on Sustainability (環境維持の統治における世界的議題の会議)、APEC首脳会議、そしてOECDイベントのメンバーであります。彼は経済の方針と教育に関連した執筆をしており、彼の文書はthe Financial Times、the Guardianそしてthe New York Timesなどに掲載されています。

彼の著書である「Consumptionomics: Asia's Role in Reshaping Capitalism and Saving the Planet (消費経済学: 資本主義を作り変えることと、地球を救うことにおけるアジアの役割)」は、the Globalist誌における2011年の年間トップ10のベストセラーの1冊にランクインしました。彼の他のプロジェクトである「the Other Hundred」は非営利写真集であり、「Forbes 100」とは対照的に、裕福ではないが価値のある人々の生活を取り上げています。

登録費用について

全ての志願者は、申し込み用紙を記入し、こちらが行う選抜審査を合格する必要があります。審査に合格し、参加が認められた方は、参加登録費用をお支払いください。

審査に合格した参加者およびオブザーバーの皆さんは、必要に応じて一番良いプランをお選びください。

| | 全日程参加 (個人での申し込み) | 全日程参加 (3人以上のグループでの申し込み) * 1人あたりの金額 | 講義・ワークショップ のみの参加 (朝食以外の食事付き) |
|---------------------------------|---------------------|--|------------------------------------|
| 早期登録 (2014年11月1日～2015年4月30日) | USD 830.00 | USD 800.00 | USD 550.00 |
| 一般登録 (2015年5月1日～2015年7月20日) | USD 850.00 | USD 830.00 | USD 600.00 |
| 6泊7日 ツインルーム への宿泊 | ✓ | ✓ | |
| ラーニング・ジャーニーへの参加 | ✓ | ✓ | ✓ |
| 朝食6回、昼食5回、 コーヒーブレイク6回 | ✓ | ✓ | ✓ |
| 記念Tシャツ | ✓ | ✓ | ✓ |
| ゲスト講義と 全体セッション | ✓ | ✓ | ✓ |
| ネットワーク セッション | ✓ | ✓ | ✓ |
| 公式プログラムに おける 移動交通費 | ✓ | ✓ | ✓ |
| 修了証明書 | ✓ | ✓ | ✓ |

誰がシンポジウム に参加すべきでしょうか？

「WHO SHOULD ATTEND THE SYMPOSIUM?」

Humanitarian Affairsは、下記の第6回USLシンポジウムへの参加資格を持つ18歳から30歳までの、すべての目立って優れた若いリーダーを招待します。

- ・ リーダーシップの強い潜在能力を表現することができ、常に自分たちがより良くなる方法を学び続けている若いリーダーたち
- ・ 様々な観点や、多様な経歴、関心、野望を持つ個人に対して本当の認識ができる心の広い若いリーダーたち
- ・ 他人に対する思いやりを持ち、より良い社会を作ることに関心を持っている若いリーダーたち

もし自分が2015年の第6回世界大学生リーダーシップシンポジウムの参加者としての基準に合うと思ったら、申込書を私たち宛てに送ってください！

2014年

の

第5回USLS

における 感謝状



前回のUSLシンポジウムでは私たちの調査によると、86%という高い満足度を得られたことを誇りに思っています。過去のUSLシンポジウムについての参加者や大学からの感想を、ここでご紹介します。



参加者 からの 感謝状

Oliver Brooke
Curtin University
オーストラリア

「人生において、永遠の宝物になる瞬間というものがあります。第5回世界大学生リーダーシップシンポジウムはそのような瞬間の一つでした。それは、私が今までに出会った中で最もエネルギッシュで、勇敢で、素晴らしい人々と友情を築く機会になりました。あなたが私と共有したものを、教えてくれたものはすべて一生忘れないでしょう。私の人生において、あなたは私の心の中にずっといるでしょう。」

Tara Prasad
University of Western Sydney
オーストラリア

素晴らしい人々と共有したあのような信じられない経験。忘れられない経験をもたらしてくれた2014年の世界大学生リーダーシップシンポジウムに感謝します。」

Joelle Yeo
Nanyang Business School
シンガポール

「プノンペンにおけるこのシンポジウムに参加したことは、驚くほど楽しい旅でした。明らかに最も素晴らしかったことは、とても多くの異なる国から来た人々と友達になれたこと、そして、多様な文化を知ることができたことです。」

Hannah Barn
Central Queensland University
オーストラリア

「私はUSLシンポジウムに参加したことで、私の人生において、最も質素ではあるが開眼するような経験をしました。そして、既に次のイベントにも参加する計画を立てています。」

Hari Patalinghug Gopalan
De La Salle Health Sciences Institute
フィリピン

「私たちすべては、異なる文化、宗教、そして肉体的外見によって分かれている異なる人生の道ノリを歩いて来ました。世界大学生リーダーシップシンポジウムでは、私たちすべてが一つのこと繋がっているということがわかりました。一つのこと、それは『私たちが同じ人間である』ということです。」

大学 からの 感謝状

Ms. Anita Drahman

Senior Officer
Department of University Life
Orientation and Leadership & Entrepreneurship Centre
Curtin University マレーシア、サラワク

Dr. Greg Teal

Director, Academic Programs (ABL/Honours)
School of Business
University of Western Sydney
オーストラリア

「参加学生と私自身、シンポジウムをととても楽しむことができました!すべての機会と素晴らしい経験に感謝します。私たちは必ず来年のシンポジウムにも参加します。」

「このように良い結果をもたらしたシンポジウムを企画し運営してくださってありがとうございました。我々の*Advanced Bushiness Leadership* (先進的ビジネス・リーダーシップ)の学生たちと報告会を開きましたが、そこで彼らの全員がこのイベント開催とそれに参加できたことに感謝していました。」

Ms. Teh Chee Ai

Deputy Dean
Business School
Undergraduate Programmes
Taylor's University
マレーシア

「カンボジアにおける、第5回世界大学生リーダーシップシンポジウムでの素晴らしい経験に感謝しなくてはなりません。ラーニング・ジャーニーなどの活動の企画や講演者の選択は学生たちに多大な衝撃を与えたということが、オブザーバーとしてよく分かりました。会議の間中ずっと、積極的な若いエネルギーの感覚が明らかに伝わって来ました。そして、すべての学生が学び、経験し、感動を集め、おそらく自分達の計画を実行し始めることかもしれないだろうということを、私は確信しています。」

Dr. Joyce Teo Siew Yean

Assistant Vice Chancellor and Vice President (Global Affairs)
Dean, UBD School of Business and Economics (UBDSBE)
Director, Institute of Policy Studies (IPS)
Universiti Brunei Darussalam

「USLシンポジウムは未来のリーダーに力を与える優れたプラットフォームです。」

Mr. Paul Kneebone
Student Leadership Volunteer Program
Swinburne University
オーストラリア

「学生たちはUSLですばらしい時間を過ごすことができました。皆さんがしてくださったことに感謝します。私たちの観点から言うと、USLシンポジウムは絶対的にファンタスティックです。というのも、私たちが送り出した学生たちは、シンポジウムに参加している間中ずっと感動的で楽しい経験をしただけでなく、新しい展望を持ってオーストラリアに帰って来ました。それによって、彼らは自分たちの社会において本物で積極的な変化を促進するようになるでしょう。」

HUMANITARIANAFFAIRS





CONNECTING PEOPLE WITH COMMUNITIES IN NEED

WWW.UNIVERSITYSCHOLARS.ORG.UK

